

第60回 教育研究評議会議事要録

日 時 平成21年5月20日(水) 午後2時00分～午後4時20分
場 所 第1会議室
出席者 野口学長、佐久間理事、野口(哲)理事、吉野理事、出田文学部長、塚原理学部長、
清水生活環境学部長、岩渕人間文化研究科長、富崎附属図書館長、中島附属学校部長、
小路田、三野、荒木、角田、今岡、今井、棚瀬各評議員
欠席者 小城評議員
列席者 岡監事、上野監事、外嶋総務・企画課長、大原研究協力課長、水谷財務課長、
荒生施設企画課長、藤熊学務課長、増問学生生活課長、浪原図書課長、
小田原国際課課長補佐

議事に先立ち、前回記録を確認。

I 審議事項

1. 第2期中期目標・中期計画の作成について

学長から、第2期中期目標・中期計画の作成に係る留意点等について資料1により説明の後、第2期中期目標・中期計画の作成にあたっては、本学の基本理念を堅持し、第1期中期目標・中期計画の基本部分は引き継ぐとともに機能分化に関する記述を盛り込み、教育面においては、教養教育科目、キャリア教育科目及び専門教育科目の改善・充実を図ること、研究面においては教育研究組織の見直しを見据えるとともに、学内研究センターの活用も含めて表記したいこと等の基本姿勢及び方向性について説明があった。

なお、評議員から、「我が国の高等教育の将来像」、「新時代の大学院教育」、「学士教育の構築に向けて」等の中央教育審議会答申にもとづく教育政策の動向に留意する必要があることなどの意見があり、答申内容等を第2期中期目標・中期計画においてどのように反映させるか等を中心に意見交換が行われた。これらの意見を踏まえ、学長及び役員で素案を作成することについて学長から提案があり、これを了承した。

2. 施設マスタープランについて

学長から、平成13年度に長期計画委員会において策定した本学の施設整備マスタープランにもとづく整備がほぼ完了したことに伴い、建物新営や既存建物の改修を含む新たなマスタープランを策定する必要があるとの説明があり、意見交換が行われ、中庭西側を利用した講義棟の新営、A棟高層化による講義室の増築、附属図書館及び総合情報処理センターの機能充実、既存建物スペースの有効活用等の意見が出された。

また、学長から、D棟ボイラー室跡の有効活用を図るため、各部局で所蔵する本学の歴史

的資料を一括して収蔵・整理する場所とするユニバーシティ・ミュージアム構想を百周年記念事業の一環として検討を開始したいこと、そのための組織として各学部から2名の委員を選出し検討組織を設置したいとの提案があり、協議の結果、これを了承した。

II 報告事項

1. 古代学学術研究センター長の選任について

学長から、平成21年6月23日で任期満了となる古代学学術研究センター長の次期候補者について次のとおり報告があった。

古代学学術研究センター長 舘野 和己 文学部教授

任期 平成21年6月24日～平成23年3月31日

なお、任期について、他のセンター長等の任期の終期に統一するため、特例的に平成23年3月31日までとしたいこと、また、古代学学術研究センターの組織について、「21世紀COEプログラム」継続事業及び「古代史・環境史プロテオミクス研究創成事業」の受け皿としての役割を担うため、今後、古代学学術研究センター長と相談のうえ検討したいとの説明があった。

2. 新型インフルエンザの対応について

学長から、新型インフルエンザに対応するために、4月30日開催の業務統括会議において部局長会議メンバー、保健管理センター所長及び関係課長で組織する新型インフルエンザ対策本部を設置したこと、また、敏速に対応するために対策本部の下に役員及び保健管理センター所長からなる中核本部を設置したことの報告があり、その後の学内における対応状況について資料3により報告があった。

また、学長から、今後、本学関係者に感染者が発生した場合は情勢に応じ休校措置をとる場合もあること、また、奈良県内又は奈良市内において感染者が発生した場合は県教委又は市教委の対応に同調する予定であることの説明があった。

3. 第59回役員会について

学長から、第59回役員会（4月24日開催）の審議概要について報告があった。

4. 平成21年度科学技術振興調整費提案課題の審査結果について

学長から、「女性研究者養成システム改革加速」に本学から提案し、ヒアリング審査の対象となった「伝統と改革が創る高度女性研究者養成拠点」について、資料4のとおり不採択の審査結果通知があったことの報告があった。

5. 創立百周年記念事業について

学長から、5月2日（土）に開催した「奈良女子大学創立百周年を祝う会」及び5月16日（土）に開催した「奈良女子大学創立百周年記念式典・祝賀会」が盛況裏に終了したことについて関係者の協力に対し謝辞の後、創立百周年記念行事実行委員会委員長の野口理事か

らも協力について謝辞があり、総務・企画課長から、参加人数等の報告があった。

また、総務・企画課長から、4月末現在における創立百周年記念事業募金に係る寄附の状況について報告があった。

6. 記念館の一般公開について

附属図書館長から、4月29日から5月6日までの期間において開催した記念館春の一般公開の実施状況について報告があった。

7. 百年史編纂事業の進捗状況について

附属図書館長から、百年史編纂事業の進捗状況について報告があった。

8. その他

(1) 人事院勧告の対応について

吉野理事から、5月1日に提出された人事院勧告の概要並びに国立大学法人への要請等について資料により説明があり、学長から、本学においても要請にもとづき同様の取扱いとしたい旨説明があり、これを了承し、過半数代表との協議等の作業を進めることとした。

(2) 教員の定年延長・再雇用について

評議員から、今後の人事計画に係わり、教員の定年延長及び再雇用の検討状況について質問があり、他大学の定年延長・再雇用の状況に関する情報交換及び意見交換が行われ、学長から他大学の情報収集を進めながら早期に検討を進めていきたいとの説明があった。

(3) その他

評議員から、夏季の冷房機使用による電力デマンド警報により冷房機器の停止要請が例年あり、特に前期末試験等の授業実施に多大な支障をきたしていることや重油ボイラー廃止に伴い冬季においても消費電力の増加が予想されることから、深夜電力を利用した蓄電等を含む本学のエネルギーシステムの抜本的な見直しの検討について依頼があった。なお、施設企画課長から、過去にコージェネレーションシステムの導入を検討した経緯や改正省エネ法による事業場の対応等について説明があり、電力消費に関する対応等について意見交換が行われた。

次回教育研究評議会を6月17日（水）午後1時から開催することとして散会

以 上